

開運大摩利支天閣 最上稲荷庭瀬支院 覚如山本了院

## 妙法華寺便り

令和7年9月号



### 和尚さんのよろず話

9月に入り、お彼岸も近くなっているにもかかわらず30度を超える日が続いております。皆様、どうぞご自愛ください。

さて、今年はお盆まで雨が少なく農家の方も困っておられたようです。昔は、このような時に、水の神様である龍王に「雨乞い」が行われました。

最上様の脇神である八大龍王も古の雨乞いの験（しるし）があり、守護神となりました。その八大龍王（八体の龍王）はそれぞれ、難陀龍王は歓喜、跋難陀龍王は智慧、娑伽羅龍王は潤い、和脩吉龍王は財福、徳叉伽龍王は持戒、阿那婆達多龍王は徳、摩那斯龍王は慈悲、優鉢羅龍王は菩提心の宝珠を手にとっておられ、全てを網羅された尊象として八大龍王尊の形をとっておられます。尚、最上様の眷属である白狐も口に如意宝珠をくわえておられ、様々な願いを叶えて下さるそうです。

この宝珠を象徴するのが水晶とされ、神仏の前に安置されています。水晶は天然の透明な結晶体です。結晶するまでには1000～1200万年の長い年月を要して作られ、宝石の一種で、ルビー、エメラルド、トパーズなどと同じの鉱石だそうです。

身延山へ参拝の折り、お店で水晶の堅さをお尋ねしたところ、その硬度はダイヤモンドを9とし、メノウを6とすると、水晶は7であり、とても堅いそうです。落とすと簡単に割れるのではと思った自分が恥ずかしくなりました。

水晶の波動は9Hz前後で振動しており、人間のリラックスした時の脳波（ミッドα波）と同じだそうです。さわるとこの波動が伝わるので、体の不調を整えるとも言われ、強力な効果を秘めています。そのため、最も有名なのは「浄化」の力です。

また、精神面との繋がりが深い水晶は、気持ちが弱っている時にも効果的です。ストレスや悩みが多く揺らいでいる精神的なメンタルをリセットしてくれるそうです。

妙法華寺の最上殿には古くからの水晶が安置されております。日々の法華経を唱える中での水晶は最上様、八大龍王尊の前で宝珠となり、檀信徒の皆様の身体健全に一役を担っておられることと思います。

気持ちの良い波動の中で九月には秋季彼岸法要（施餓鬼会）



が営まれます。御先祖様や餓鬼仏など、様々な霊位に回向して、陰徳を積んでいきましょう。

合 掌

## ◇ 行事報告 ◇

### 8月18日（月）摩利支天月例祭

堂内の読誦会に引き続き摩利支天堂にて法樂を行い、家内安全・身体健全等の祈念を申し上げさせて頂きました。9月はお地藏様の衣替えもあります。

痛みを取って下さるお地藏様です。自分の痛いところなどを優しく撫でてください。



## ◇ 行事案内 ◇

### 摩利支天月例祭

10月は、18日（土）午前10時より執行いたします。

11月は、16日（日）午前10時からの御会式一座目に引き続き執行いたします。

### お会式法要

11月15日（土）お逮夜・翌16日（日）に執行いたします。

15日は午後6時より、16日は、午前10時の一座目は摩利支天月例祭を合わせて執行します。午後2時30分に最終座をさせて頂きます。（16日の一座目と最終座の間は随時）是非ご参拝下さい。

担当世話人のおられる檀家の方は、10月にお渡しする左の写真の封筒を以て御浄財をお願いいたします。また、遠方の方は、10月のお便りに同封する振込用紙にて御浄財をお願いいたします。

なお、御浄財を頂いた方には、右の写真（見本）の御札をお渡しします。この御札は御仏壇に安置して頂くものです。御札の一番上にあります曼荼羅は災厄から護って下さるものです。その下に日蓮聖人の尊名と聖語をしるしております。

一年を通じて日蓮聖人の威徳をご先祖様にお唱えし、功德をお積み下さい。

合 掌

|          |                              |
|----------|------------------------------|
| 功德主      | 日蓮大聖人<br>報恩御会式<br><b>御寶前</b> |
|          | 浄財志納金                        |
|          | 金 円                          |
| 日蓮宗 妙法華寺 |                              |

